

インドの聖なる川の浄化を目指したサバイバル研究生活

2024年11月13日（水） 16:20～17:50
（16:00開場・受付）

会場：信州大学 工学部

E2棟（国際科学イノベーションセンター）2階

参加費無料
事前申込不要

小・中・高・大学生を含め、どなたでも聴講できます。小さなお子様連れもお気軽にご参加ください。



講師 小野寺 崇氏
国立環境研究所 主任研究員

インドの水問題の解決を目指して大学生が送り込まれたのはインドの下水処理場。下水処理場での住み込み生活をしながら研究に打ち込むこと数百日。研究開発の行方は？そして開発途上国のリアルな現場で体験したこととは？

【講師紹介】小野寺 崇氏

学生時代にインドの下水処理場に長期住み込みで実証試験に従事。JSPS特別研究員、米国ジョージア工科大学客員研究員を経て、現在は国立環境研究所主任研究員。排水処理技術の開発、下排水由来の温室効果ガス排出、窒素問題、地域の水環境・污水管理等に関する研究などに取り組む。水分野の産官学の若手組織であるJapan-YWPの元共同代表。優秀論文賞（廣瀬賞）（日本水環境学会）、環境技術・プロジェクト賞（土木学会環境工学委員会）など受賞。著書に「インド下水処理場生活1800日」（Web Japanese Books）。趣味は草野球。



※一般市民の方で自動車での来校を希望される場合は、事前にご連絡ください。なお、駐車台数に限りがあるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。